

ThreePro Group

- 2011年10月期 第3四半期決算説明会 -
2011年9月15日(木) 日本証券アナリスト協会会議室



証券コード：2375

東日本大震災について



この度の東日本大震災において、被害を受けられた皆様、
そのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。また本震災
において亡くなられた皆様のご冥福をお祈り申し上げます。

代表取締役 関戸 明夫

<被害の状況>

- 従業員、登録スタッフへの人的被害なし
- 仙台センター屋内什器の一部に軽微な被害

筆頭株主（グローバルBPO社）について

筆頭株主の変更について

現筆頭株主：株式会社グローバルBPO
所有議決件数：2,799株（平成23年9月15日現在）
議決権比率：16.13%（同上）



平成23年6月、株式会社グローバルBPOが筆頭株主となりました。
＜目的＞ 当社財務基盤の強化、事業シナジーの創出、及び当社グループの企業価値の向上の為

平成23年6月21日に開示済みの通り、同社と5億円を上限とするコミットメントラインを締結しました。
当社代表取締役は株式会社グローバルBPOの代表取締役を兼任しており、重要な人的関係及び上記借入の実施により実質的な影響を有するため、株式会社グローバルBPOは当社の「その他の関係会社」に該当。

(株)アビバの異動について

子会社(株)アビバの異動と特別利益の発生

- 連結子会社である(株)アビバの株式について、アビバの株式の譲渡先とされる(株)リンクアンドモチベーション及び(株)アビバと協議を進め、(株)アビバの連結子会社異動について合意に至る
- 2011年6月11日付で(株)リンクアンドモチベーションが(株)アビバの全株式を取得
- (株)アビバ株式譲渡により、2011年10月期連結決算において子会社株式売却益（特別利益）340百万円を計上見込

2011年10月期 第3四半期 業績報告

2011年10月期第3四半期 連結業績



単位：百万円	10/10期 3Q実績		11/10期 3Q実績		増減	増減率
売上高	9,564	(売上比)	9,442	(売上比)	△121	△1.3%
BPO事業 ※1	7,214	75.5%	6,362	67.4%	△852	△11.8%
教育支援事業 ※2	2,349	24.5%	3,080	32.6%	+731	+31.1%
売上総利益	2,453	25.9%	2,475	26.2%	+22	+0.9%
販売管理費	2,209	23.2%	2,434	25.8%	+225	+10.2%
営業利益	244	2.7%	40	0.4%	△204	△83.3%
経常利益	224	2.6%	28	0.3%	△196	△87.4%
当期純利益	174	1.8%	164	1.7%	△10	△5.9%

※1：旧称 IT支援事業

※2：10/10期3Qの教育支援事業の売上高において、(株)アビバのグループ化による売上増加は4～7月の4か月分のみ反映

- ✓ 教育支援事業を担っていた(株)アビバの全株式譲渡により連結対象外となったため、前年同期比で減収（(株)アビバの損益は今期6ヵ月分、前期4ヵ月分のみ計上）
- ✓ BPO事業では、震災後の営業自粛や生産設備被災による業務の遅れが徐々に解消されつつあるものの、足元では低調に推移
- ✓ 利益面では全事業的なコスト削減に取り組む中、震災等の影響による売上減少分を補えず減益



120,000人のエージェントによる日本全国へのサービス提供

営業・販売支援サービス



製品・サービスの
プロモーション

導入・設置・交換支援 サービス



IT機器の導入・
保守・電気・通信
回線工事

運用支援サービス



コールセンター
・人材サービスの
提供、システム
開発支援など

BPO事業 各サービスの業況

営業販売支援サービス

- 震災の影響により、都市部においては営業活動の自粛で一時影響が見られたが、地方・都市部共に4月末頃からの営業活動再開で徐々に回復の兆しを見せる
- 過疎地域のブロードバンド化事業支援としての通信キャリア商材を主とした成果報酬型サービスが震災後は延期等の理由により影響を受ける

導入・設置・交換支援サービス

- 通信建設業界の大手各社からの携帯電話・次世代無線通信の基地局工事案件が堅調に推移していたものの震災による工事延期等により、大きく影響を受ける
- PCやスマートフォンのキitting業務の人員派遣需要の高まりや、医療機器メーカーの機器バージョンアップ作業が収益改善に寄与

運用支援サービス

- コールセンター業務が周辺機器サポートやヘルプデスクのサービス受注により堅調に推移する中、震災を契機とした業務渡航者向け緊急ヘルプデスクのサービス受注がコール数増により売上増
- IT人材支援は震災による業務中止等の影響を受けたものの、システム・エンジニア開発での影響は比較的軽微に済み、需要の盛り返しと共に堅調な推移となる



※全社売上・利益控除前
(単位：百万円)

10/10期 3Q期実績

11/10期 3Q期実績

売上高

7,214

6,362

売上総利益

1,571

1,353

営業利益

622

438

業績のポイント

- ・ 順調に推移していたものの、震災により販促キャンペーンの減少、導入設置案件の延期等で、業績への影響を受ける
- ・ コールセンター業務は増加、その他、販売管理費の削減により 業績への影響を極小化

東日本大震災を境に、景気の先行きに急速な不透明感

⇒企業の求人意欲は足下では昨年末比で上向きであったものの、先行きの不透明感により雇用環境は依然低調

1. 新規クライアントの拡充と既存クライアントへの複合サービス提供

- ・ 新規筆頭株主の関連企業への売り込みにより、業績を拡大する
- ・ トップ20クライアントを中心に、複合的なBPOサービスの提供を展開する
- ・ その他、複合サービスおよび独自サービスの開発による付加価値化

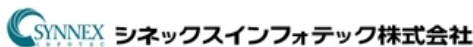
2. BPOサービスを通じた被災地への支援を実施

- ・ 東日本大震災の被災地エリアでのインフラ・通信網再構築に注力する
- ・ その他、当社ビジネスの強みを生かし、被災者への就労機会を継続的に提供する

シネックスグループとの連携

SYNNEX (シネックス) グループについて

- ・ SYNNEXグループは、1980年創立、2009年度には連結売上高80億ドルを計上し、全世界で7,000人以上の従業員が勤務する、ビジネスプロセスサービス業界の有力企業です。ニューヨーク証券取引所に上場しており、米国フォーチュン500社のひとつにも選ばれています。
- ・ グループは、米国をはじめ、カナダ、中国、メキシコ、フィリピン、英国などに事業拠点を展開しており、世界中の様々な地域にて、卸売業者、小売業者、システムインテグレーター、OEM製造メーカーに対し、IT機器を販売するほか、サプライチェーンマネジメントやビジネスプロセスアウトソーシングなどのサービスを提供しています。



プロダクト・ソリューション

- ・ ハードウェア
- ・ ソフトウェア
- ・ サービスソリューション



BPO事業

営業販売支援サービス

導入・設置・交換支援サービス

運用支援サービス



ITを中心としたBPOサービスを相互補完的に推進することでシナジーを発揮し、新たな成長ステージへ進みます。

単位：百万円	10/10期 実績		11/10期 修正予想 ※		増減	増減率
		(売上比)		(売上比)		
売上高	13,592		11,726		△1,866	△13.7%
営業利益	205	1.5%	57	0.8%	△148	△72.2%
経常利益	144	1.1%	7	0.7%	△137	△95.1%
当期純利益	△635	△4.7%	147	0.1%	782	-

※ 2011年8月31日通期業績予想修正

2011年10月期 連結業績予想の前提

1. アビバの売却

100%連結子会社であるアビバの売却に伴い、教育支援事業における実績は2010年11月～2011年4月のみの取り込みとなります。

2. 震災による被害拡大

震災により、子会社スリープロ株式会社 仙台センターも 少なからず被害を受けましたが現在は完全操業中。震災後の原子力発電の安全性にかかる問題等の悪化や、東北エリアの復興スピードの鈍化の影響は業績予想に含まれておりません。



- ◆本資料もしくは口頭による説明において、歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しです。これらは、現在入手可能な情報を基にスリープログループ株式会社が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。
- ◆本資料は、株主・投資家等の皆様にスリープログループ株式会社の経営方針、計画、財務状況等の情報をご理解いただくことを目的としており、利用者に対して、当社の株式の購入、売却等、投資を勧誘するものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。
- ◆情報・資料の掲載には注意を払っておりますが、掲載された情報の内容またはその誤りについては保証するものではありませんので、ご了承願います。

◆連絡先

スリープログループ株式会社 広報IR担当 < ir@threepro.co.jp >
〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目21-3 西新宿大京ビル
Phone : 03-6832-3260 Fax : 03-6832-3269

スリープログループ株式会社

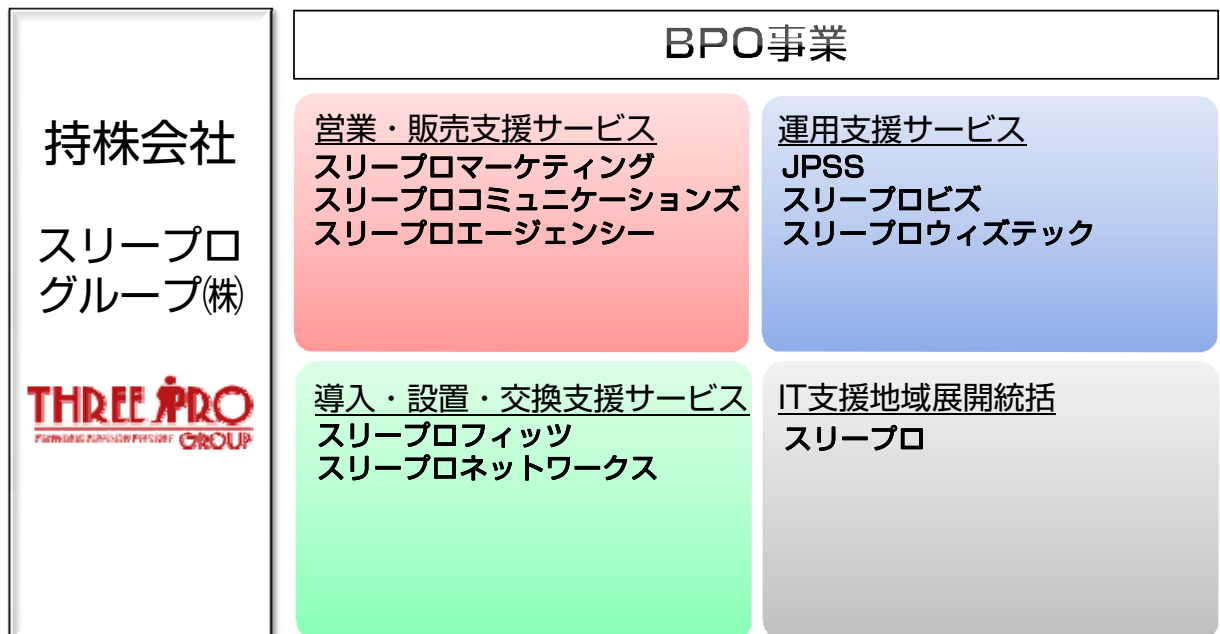
創業 1996年4月
資本金 10億260万円
所在地 東京都新宿区西新宿7丁目21番3号

グループ売上高 135億円 (2010年10月期)
グループ会社数 10社 (2011年9月)

【BPO事業】

登録エージェント数 約120,000名 (グループ合算)

スリープログループの組織体制



◎ 販促のアウトソーシング ◎



サービス・商品開発元



代理店・営業店

成功報酬

成功報酬



成功報酬型営業受託サービス

【業務実績】

- 通信キャリアサービスの新規顧客開拓
- 地域での市場シェア獲得代行
- 提案型新商材リサーチ・営業支援
- モバイル基地局の営業支援・コンサルティング
- アウトバウンドテレマーケティング



販売支援サービス

- 消費者への製品説明、実演・イベントなどの販売応援
- 販売促進キャンペーン・イベントの実施
- 売場環境、展示環境の整備
- 消費者の意見・競合他社や売場の情報収集
- 製品在庫や各種販促ツールの管理

導入・設置・交換支援サービス

◎ 導入・保守・工事のアウトソーシング ◎

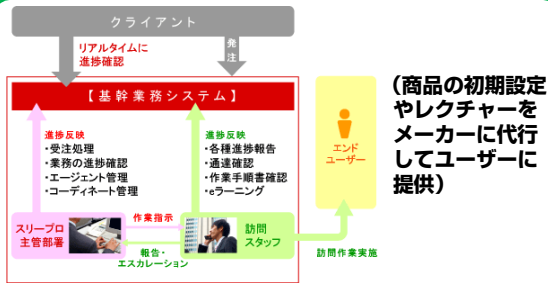


ITシステムサポートサービス



(一般家庭から法人まで全国一律料金)

IT機器即日駆けつけサービス



個人向け訪問サポートサービス

(その他サービス)

・ LAN構築・工事サービス

電話回線、インターネット回線、室内電気工事など種類を問わずLAN構築・工事全般を提供

・ システムの運用保守サービス

IT機器システムをシステム監視などによって、システム環境と業務が効率よく運用されるのをサポート

◎ 運用部隊のアウトソーシング ◎

コールセンターサポートサービス



コールセンター運営上の課題解決をサポート



顧客ニーズに合わせた業務請負



状況に合わせて、ユニット派遣にも対応

IT人材支援サービス

12万人の登録スタッフを活用し、
企業内ヘルプデスクや一般事務、
その他軽作業を請け負います。

スカウト&サーチサービス



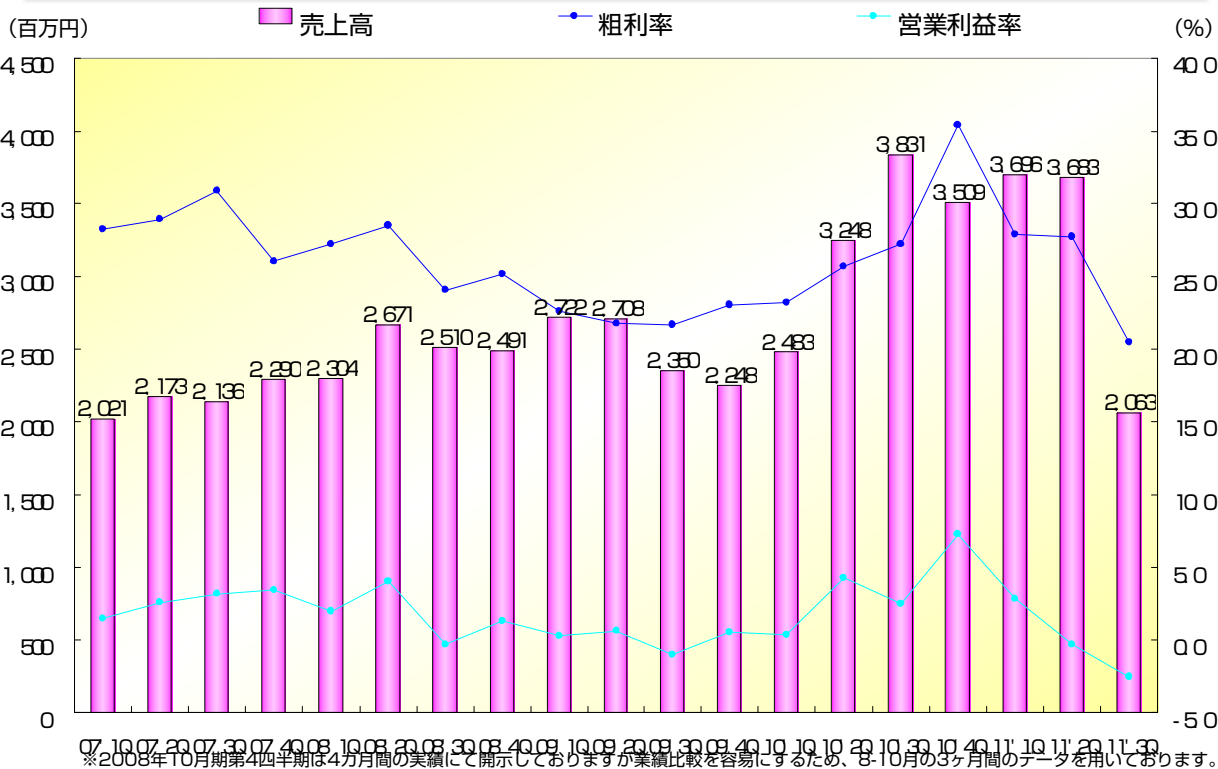
企業が求める人材とキャリアアップを目指すスタッフ
双方のマッチングを実現するサービスです。

業績の推移 (03/10期～10/10期)

(単位：百万円)	03/10期	04/10期	05/10期	06/10期	07/10期	08/10期	09/10期	10/10期
売上高	2,349	2,830	5,080	6,273	8,619	10,855	10,028	13,592
売上総利益	972	921	1,340	1,678	2,455	2,774	2,230	3,644
販売管理費	808	770	1,310	1,614	2,220	2,581	2,220	3,439
営業利益	164	150	30	64	234	192	10	205
経常利益	141	146	37	58	218	228	35	144
当期純利益	116	▲47	▲54	19	138	82	▲493	▲635
EPS(円)	128.39	▲34.65	▲35.58	1,013.03	7,266.52	4,795.40	▲29,621.76	▲36,831.59
純資産額(百万円)	889	799	1,090	1,441	1,645	1,613	986	372
総資産額(百万円)	1,310	1,712	2,586	3,335	3,500	4,324	4,009	6,646
自己資本比率(%)	67.9%	46.7%	42.2%	43.2%	47.0%	37.3%	24.6%	5.6%
発行済株式総数(株)	1,280,000	1,380,000	1,643,286	18,907.65	19,170.65	19,174.65	19,174.65	19,174.65
従業員数(人)	105	147	235	260	283	342	279	970

- (注) 1. 03/10期は連結対象子会社がありませんので、スリープロ単体の数値です
 2. 従業員数は契約社員等を含みます。また、04/10期以降はグループ従業員総数です
 3. EPSに関して、当社は06年4月に100株を1株へ株式併合を行っております

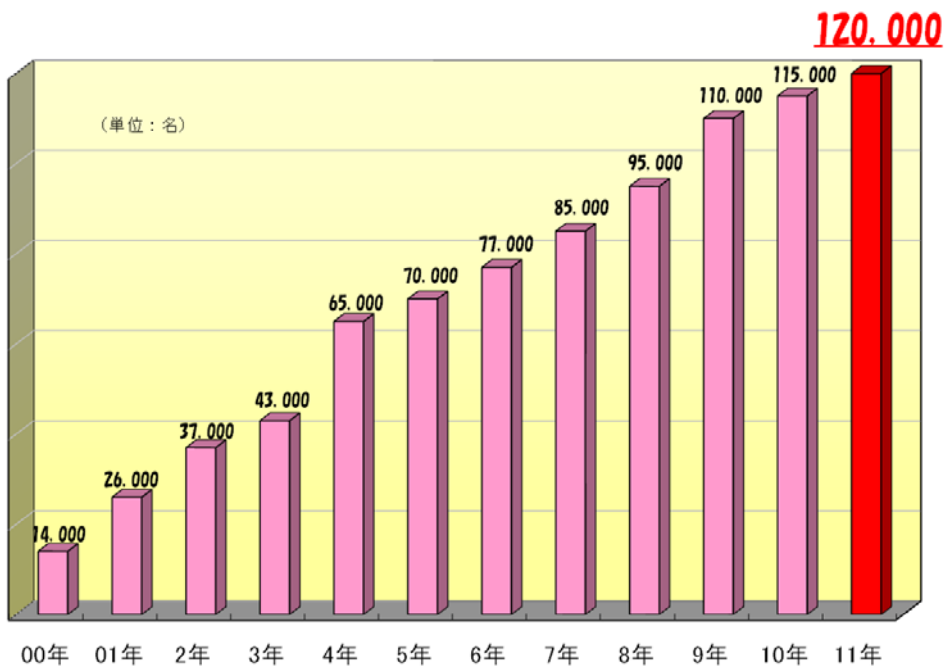
四半期業績推移



沿革

	00	01	03	04	05	06	07	08	09	10	11	
事業展開	スリープロ創業	導入設置交換支援サービス開始	▼運用支援サービス開始 コールセンター開設	派遣紹介免許取得人材派遣の本格化	東証マザーズ上場	▼営業・販売支援サービス開始	▼地域展開体制確立 C「ITビジネスのパートナーカンパニー」を策定	▼学習支援サービス開始	C「市場創造サポーター」に刷新	スリープログループへ商号変更 持株会社体制へ移行	C S R 活動への基本方針を策定	株主総会決議により、株主の異動 への準備
	スリープロ創業	導入設置交換支援サービス開始	▼運用支援サービス開始 コールセンター開設	派遣紹介免許取得人材派遣の本格化	東証マザーズ上場	▼営業・販売支援サービス開始	▼地域展開体制確立 C「ITビジネスのパートナーカンパニー」を策定	▼学習支援サービス開始	C「市場創造サポーター」に刷新	スリープログループへ商号変更 持株会社体制へ移行	C S R 活動への基本方針を策定	株主総会決議により、株主の異動 への準備
子会社化・事業譲渡									株主総会決議により、株主の異動への準備	株主総会決議により、株主の異動への準備	株主総会決議により、株主の異動への準備	株主総会決議により、株主の異動への準備
									株主総会決議により、株主の異動への準備	株主総会決議により、株主の異動への準備	株主総会決議により、株主の異動への準備	株主総会決議により、株主の異動への準備

BPO事業 登録エージェント推移



役員構成

2011年8月現在

取締役会長 ロバート・ファン (1期目)

1980年 SYNEX(U.S.A) 創業
 2010年 シネックスインフォテック㈱ 代表取締役社長就任
 2011年 シネックスインフォテック㈱ 代表取締役会長就任 (現任)

代表取締役 関戸 明夫 (1期目)

2007年 ㈱グローバルBPO 代表取締役社長 就任 (現任)
 2008年 ㈱NDS 代表取締役社長 就任 (現任)
 2010年 シネックスインフォテック㈱ 監査役就任 (現任)
 2011年 当社代表取締役就任 (現任)

取締役執行役員 樹田 雅彦 (1期目)

2006年 ディップ㈱入社
 2010年 当社入社
 スリープロコミュニケーションズ㈱ 取締役社長就任 (現任)
 2011年 当社取締役就任 (現任)

常勤監査役 竹中 正雄 (1期目)

1959年 ㈱小松製作所入社
 1977年 ㈱シーサンディ (現当社) 設立
 1989年 ㈱印刷アド 代表取締役社長 (現任)

監査役 太原 正裕 (3期目)

1983年 ㈱東京都民銀行入社
 1999年 ㈱SBUマネジメント取締役
 2007年 城西大学准教授

監査役 加地 誠輔 (1期目)

1966年 野村證券㈱入社
 2005年 アクセリア㈱入社 常勤監査役就任 (現任)
 2011年 当社監査役就任 (現任)

優待対象 : 10月末、4月末時点の株主名簿に記載された1株以上保有の株主様
 ご優待内容 半期合計 : 23,000円相当
 (毎年6月・12月の年2回発行、年間合計46,000円相当)

【優待内容】

■Pチケット×5枚

- ・ 額面1,000円券を5枚
合計 5,000円相当
- ・ 複数枚同時利用可能
- ・ 第三者への譲渡可能

■レスキューミー！聞きホーダイチケット

- ・ 18,000円相当のサービス内容
- ・ パソコン・IT機器に関するトラブルを
電話にて親切・丁寧にサポートします。



「Pチケット」とは、スリープログループが運営する、オリジナルのギフト券です。
 スリープログループのサービスや、提携先企業のサービス、
 またはPチケット寄付制度にご利用いただけます。



<http://www.p-ticket.jp/index.html>

パソコン教室、資格取得スクール、デジタル家電の購入など当社グループ・提携先企業の
 様々なサービスに対して利用が可能になっております。事業提携・営業の促進としてはも
 ちろんのこと、当社のサービス認知向上モデルとして推進中です。

本優待内容は、現時点の予定ですので、今後変更することがあります。

株式情報 (大株主の状況及び株式の状況)

(2010年10月31日現在)

	株主名	保有株数(株)	保有比率(%)
1	高野 研	4,450	23.21
2	コロンブス(TPG従業員持株会)	1,714	8.94
3	日本コムシス株式会社	1,500	7.82
4	株式会社大塚商会	1,200	6.26
5	株式会社廣済堂	717	3.74
6	竹中 正雄	700	3.65
7	株式会社東電通	600	3.13
8	加賀ハイテック株式会社	466	2.43
9	大森 慎也	397	2.07
10	加賀電子株式会社	304	1.59

※自己株式数 10年10月期末:1,820株

(2011年7月29日現在)

	株主名	保有株数(株)	保有比率(%)
1	株式会社グローバルBPO	2,799	14.60
2	高野 研	1,897	9.89
3	日本コムシス株式会社	1,500	7.82
4	コロンブス(TPG従業員持株会)	1,417	7.39
5	株式会社大塚商会	1,200	6.26
6	株式会社廣済堂	957	4.99
7	竹中 正雄	700	3.65
8	株式会社東電通	600	3.13
9	加賀ハイテック株式会社	466	2.43
10	大森 慎也	397	2.07

※自己株式数 11年10月期第3四半期末:1,820株

発行可能株式総数: 65,000株

証券コード: 2375

配当金受領株主確定日: 利益配当金 10月31日

中間配当金 4月30日

発行済株式総数: 19,174株

上場証券取引所: 東京証券取引所 マザーズ市場

株主名簿管理人: 大阪府大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

一単元の株式の数: 1株

決算期: 10月31日

同取扱場所: 東京都中央区八重洲二丁目3番1号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

株主数: 747名(10年10月末時点)

定時株主総会: 1月

同取次所: 住友信託銀行株式会社 全国各支店